

難読地名辞典

山口恵一郎
編
楠原 佑介

はしがき

「一口」が「いもあらい」だの、「十八女」が「さかり」だのの読みかたをみると、われわれ、いかに通ぶってみても、つくづく、どうしようもない気がする。これら、いうまでもなく、地名の風がわたりなジャンルだが、十八女などの戯謔地名はもとよりすなおに読めるものではあるまい。このような地名は、しょせんはコロンブスの卵でしかないであろうが、しかしそれにしても、地名の難読については、あるいはわれわれの“常識”的範疇からはみだすものが数知れない状態だ。

見知らぬ土地の、その地名の読みかたについては、いわゆるふつうの読みのやさしい地名であっても、自信をもつて読みうる人はまずないといってよい。そのせいか、地名の読みの手がかりになるような本が以前から要望されていた感はたしかにあるのだが、その作成の困難のためか、手頃なもののがなかなかつくれないのが現実であった。数ある地名のことだ、すべてがすべてというわけにはいかないにしても、せめて難読のものだけでも集成された地名集でもあればと思う人は、今でも決して少くないのである。この辞典はこうした要求に応えたいという意図からうまれた。

だが、難読とは一定のものではなく、人によってはなはだしく異なるものだ。ますなによりも、居住する土地の地域性によって異なる。むずかしい読みも地元の人にとっては何でもないのだ。あるいはま

た、口はばつたいことをいうようだが、その人の素養の程度によつても異なる。こうして万人が万人、一様ではない。だから、この辞典の編集方針たるもの、いろいろの意味で、なるべく広い範囲に難読と目されるものを拾い集めることにした。

とはいっても、限られたスペースで収録も十分に満足な状態にまではとてもいかない上に、菲才の編者ゆえ、申しわけないが、必要なものの脱落、読みのミスなどもかなり多いことであろう。今にして正直にいえば、この辞典をつくりはじめた頃、これがどの程度意義があるのか、みずから疑問に思つたものだ。仕事が進むうち、実用性を標榜したこの辞典が、大きな存在理由に裏づけられていることを痛感するようになつたのも妙な話だが、事実である。

地名は地元の人がいちばんよく知つてゐる。読者諸賢のご指摘を得て、この辞典、完璧に近づけたものと思う。

昭和五十三年八月一日

編者

山口恵一郎

楠原 佑介

凡例

一、選択の基準

難読地名の基準をどこに置くかは大変むずかしい。日本語の固有名詞である地名を漢字で表記する場合、借音、借訓、言訓混用、熟字訓、それに各地の方言語（方言）による訓があり、一方で漢字本身の音にも時代によって相違がある。地名の表記にはそのすべてのケースが見られるわけである。また、誤記・誤読がそのまま慣用として定着しているケースもある。したがって、本書ではごく常識的に考えて一般とは異なる読みをするもの、読み間違いをしやすいものの、を基準として選んだ。

二、略符号、表記の原則について

対象とする地名は、郡（略符号「郡」）・区（同「区」）・支庁（同「支庁」）・市（同「市」）・町（同「町」）・村（同「村」）、および大字・町名（略符号なし）、俗称地名（同「俗」）を主とし、地名語根がそれら行政地名・集落名にない場合に限って山・川・峠・高原などの自然地名（同「自」）や道路名（同「道」）を補つた。

同一項目内の所在地の表記は八地方区分をもとに北から南へ列記し、同じ都道府県内に多くの同一地名が存在する場合は県名を略して「」でつないだ。同一の郡・市・町・村の場合は「同」で表わした。また、政令で指

定された十大都市の場合は、道府県名を省略した。

なお、東・西・南・北、上・中・下、大・小、新・元

などの分割名詞がつくものは原則としてそれをはずした形で表記し、（――）で処理した。ただし、現行の市町村名に限り、分割名詞をつけたままの形で取り扱った。

また、きわめて多数の地名例が存在し、本来は難読であってもすでに広く慣用されているものは辞典の性格からして繁雑を避けるため、「ほか多数」と省略したケースもある。

三、字画の基準

字画は原則として小柳司氣太『新修漢和大字典』に従つた。ただし、「せ」「え」などは当用新字体の画数で統一した。二字目以降カタカナ、ヒラガナが含まれる場合、一画の前に置いた。

四、主要な参考資料

- 『日本分県地図地名総覧』（人文社）昭和五十二年版
- 『国土行政区画総覧』（国土地理協会）
- 『新旧対照最新全国市町村名鑑』（大蔵省印刷局）昭和五十年版

『標準地名集—自然地名』（国土地理院）

『駅名辞典』（中央書院）

『日本地名発音辞典』（日本放送協会）

『コンサイス地名辞典—日本篇』（三省堂）
『世界大百科事典—日本地図』（平凡社）

市・町・村の調査（同）も実施した。また、通字も計
する機会で現地を巡回して、「見じるが」（同）である。
さて、既に述べた、國の地理的特徴によるものと、其の次に
「同」（同）の測定面の変遷が、必ずしもその原因であ
るのでは、現地の開拓（田・川・山・林・湖沼）の自然条件

相變人名に本邦一科本體（「本體」）
（ノリセム）や本邦の地理（「地理」）
（日本國之地理）（日本國之地理）

（日本國之地理）（日本國之地理）
（日本國之地理）（日本國之地理）

（同）〔同〕（同）〔同〕（同）〔同〕（同）
（同）〔同〕（同）〔同〕（同）〔同〕（同）〔同〕

〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕
〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕〔同〕

十乃力刀八入人二了九七丁 二 乙 一 一 画

三 三 三 三 九 八 八 七 七 大 五 五 四 三

土 口 千 刂 乞 久 丸 与 万 下 上 三 丈 三 又 占 三 画

元 元 毛 毛 毛 云 云 云 三 七 四 四 四 画

四 画 才 弓 千 巾 己 工 川 山 兀 小 寸 子 女 大 夕 壴

葬 葬 翁 翁 翁 翁 翁 翁 翁 翁 翁 三 三 三

刈 切 分 冂 六 公 内 元 仮 介 今 仇 仁 井 五 丹 中 不

宅 宅 宅 窃 窃 窃 窃 窃 窃 窃 窃 窃 窃 窃 宅

夫 太 天 王 予 取 反 双 友 及 卯 午 卯 区 化 勾 勾 勾

𠂇 𠂇 究 究 究 究 究 究 究 究 究 究 究 究 𠂇

月 日 方 斗 文 支 戸 犬 水 手 心 引 廿 巴 乚 尺 少

亾 亾 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 老 亾

主 丙 丘 世 且 五 王 牛 片 父 爪 氏 毛 比 止 欠 木 画

尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖 尖

去 卦 占 半 匐 北 包 加 出 冬 兄 以 代 仙 付 他 仕 井

𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇

尼 尸 孕 奴 失 外 𠂇 四 叴 司 叶 右 可 召 只 古 𠂇 台

尖 尖 尖 尖 尖 尖 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂

未未辻辻辻艾汁汀永冰旦払打必弘序廣平布市巨左
 灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭
 矛目皮白疋申甲由田用生甘瓦玄礼示瓜玉民母正札本
 元元元元元毛云云云云云云云云克克克克毛毛
 休伐伏伍伊企仔任仲仰假亥交直画六 岳立穴禾石矢
 灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭灭
 团因回向吐后名同吉合各印匠列刑例再共全光先会伝
 三三三三三三三三三三三三三三三三
 汝拔庄年巡州屹当尖寺安守宇宅如夷多夙坏壮地在
 灭灭灭灭灭灭灭灭毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
 死次初朽朽朽染朴朱有曳曲旭早成戎戌芝芒芋池江汗
 网网网网网网网网网网网网网网
 虫色良舟舌白至自耳羽羊糸米竹衣百老从牟灯灰氣此
 网网网网网网网网网网网网网网
 兔兒作余何佐住位但佃伽似伶伺伸伴伯亂串七 西行
 灭灭灭灭毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
 壳壳声坊均坂圖團告吾吹吸與含君医助利別初冷兵
 网网网网网网网网网网网网网网

投扶杵忘志忍役弟弄床底巫岐局屎尾寿对央孝妙
那邑返近迎刈芹芳花芭芦芥狄沢沙冲沓沈汲汰求拔折
甫肝肘社攻牡榎来木杠束杜杖杓村杏李杉更改戒我防
麦里采酉辰辛车身足赤走貝豆谷角見良糺私秃皂町男
受取卓卒刺到画函具其併依供侍例併佳佩京乳並 八画
孟宗始姊妻妹奔奉奈夜岱垂附坤国和命呼味皆周
弦弥延府庚幸岬岸桥岱岬岫岩岡屈居宝実宜定宗学
波泽泗法泓泊沼治油河沮拌招拓拐姆押抱披忠征往彼
迦蕘茅茄茂英苦苧苦若蕘苞苛苗蒼荳芽猶狙狗狐注泥
七

板松杷杵東杭服朋易明昌昆於斧放所房忽邸附阿逊迫

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

肴育肱肥祈禱物牧沓炊步武杵枿枝果枹枹枚林粉枋柵

元元元元元元元元毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

俄便亭乘九齊非青雨門長金舍表虎臥突空仙知直的
画

元元毛毛毛毛美美美美美美美美美美美美

垢妬咷品咸唉咤厚厘卷南勇勅前削則剃冠胄保信保姐

元元元元元元元元元元元元元元元元元元

思怒後彥廻建度帝峩峙屏屋室威姿始姪姥契坼坼城垣

元元毛毛元元元元元元元元元元元元元元

茱茨茜茗獨狹狩淺淨海活洲津洞洗泉挾指持拾拱恒急

西西西西西西西西亮亮亮亮亮亮亮亮

柄柿枳是昭春星政扁榮逆逃送追落莊荒莊草荊茸茶

兒兒兒兒兒兒兒兒兒兒兒兒兒兒

貉為點炬毘段拉柂柂征柂柴柳柱柂相柞柚染柑柘柏格

元元元元元元元元元元元元元元

研砂県眉相盃皇皆發癸昧烟界甚脛胡胎背胆神祝祖珊

元元元元元元元元元元元元

面門重軍負貞計要虹臥耶美紅紀級粧竿笕科秋祇祓辭
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
唄員原劍凌冥兼倭值借倉倭俱修 十画 香首食飛風音革
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
帶師差嶺島峯嶠峩將射家宵宮孫媯姬夏堵塈埋圃唐
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
流涌涅浴浮浪浦泰挽振悅惠息恭恩恥恐從徒消庭庫座
云云云云云云云云毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛
院郡遼連逢造速通道逗途透昉華蕪莪莞莎蘋荻荷浜
云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
桂桁根梅梓株栩栢栗栖朗朔書晒晃時旅敏效拳扇舉除
云云毛毛毛毛毛毛炎炎炎炎炎炎炎炎炎炎炎炎
協能胼祥班珠狼狸特烟烏殘帰桺梅梓桔桑桐桎案桃
云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
竜称秬秩秦秤秣祓砾破砧研砥砠真益畠畝畚留畔瓶脊
云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
起貢財記訓蚕蚋蚊磐般致耕翁罿素紙紐納粉笑笊笈笄
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

務動副刺剪富兜健乾 十一 鬼高骨馬隼針金釤酒配酌
莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫莫

蒐嶮崩崎尉寄寂宿婦婆娘壺埠堂壩墻基執埴問商唱唯
覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓覓

酒液揜掬控接採掛掃捨据惟惚情惡御得強張庶庵常帷
酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒

葦菰蕸菖菜菖菖蓮貓獛溪済波涉添清淵深淡淘澗淋涼
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

梓望曾晞斜救教悉隆陸陶陳陰鄉都郵郭部逸范著萌菴
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

理球現烽欲枹枹杌棼巢樹禁槐梵梳梯梨榔樞梓梁桶
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

細粗粕粒筐笱笠苗笙簧杼袋窕移磈眼盛畊產瓶脚祭瑨
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

釧釣野釀転貫貧訛設許袈虯蛇虛船舳春習紫絰終紺紹
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

厨博勝割備傘傍 十二 龜黑黃麻鹿烏魚頃項齋零雪雀閉
三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

幅就異居尊嵐寒富媚媒奧塔堅塚埠場報堰堤喰喬喜善
濕滿滯激湧湯湧湛湖港渭溫渥渡渚握揚揖提復彈幾廉
過遍漣遊蓴蘘葭葦葛蒲蘿葉落蕡萬荪萩猶猴猪猩
晚暑智晴景普晚班斐敬敦散惄覺隨階限隅陽遙遲達道
柳榆槐檢柵櫈桃楣椒椎楂椋榆椅椀棹森欄棚棗棒朝最
堅童程稀础俗硯疏短登喙番牋祿琵琴犁犀燒然無殖殖
蜘蛛繪統給結桐枮粥粟筭策答箇筑篠筭筋等筭筆裡
閨開鉢鋟鈎鈍斬酢輕牀越駕賀貸貴貲象詫覩裂蛻蛭
園勢僧劖僅傾催 十三画 齒黍飯臘須堇韌雲集雄雁閑
卷毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫

源 捷 揭 摧 霽 微 幕 幢 嶠 崩 嵋 嵯 嵘 嵘 嵘 嵘 嵘 嵘 嵘

愛 意 遠 遙 蔣 莲 蓬 薤 薤 薤 薤 薤 薕 薕 薕 薕 薕 薕 薕 薕

樂 樞 植 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠 楠

稗 稳 禁 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝 硝

觜 蟀 蟂 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾 蛾

銅 餅 頓 鞠 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷

漁 滴 摺 慕 德 寧 撇 增 墨 境 嘉 十四面 鼠 鼎 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴

檜 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構 構

筭 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓 篓

蜜 蝴 蜩 聞 聚 翠 練 總 繪 綾 綺 級 網 綱 維 繩 綠 精 卷 管 服 算 箕
四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 五 四 五 四 五 四 五

髮 駛 駄 餅 領 頭 靜 雜 閨 開 錢 銅 銘 銀 鉢 酸 賑 說 許 蜻 蜓
四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 九 四 七

撫 撥 撞 摩 慶 徹 影 藏 幣 幢 幡 軾 履 嬉 壞 儀 十五画 鼻 鳶 鳴 凤 魁
三 三

橫 橋 樟 楆 標 横 榕 樓 樺 蔷 薰 蔴 落 蕎 蕃 澄 漬 潤 潭 潤 潛 撲 撷
四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 三 四 三 四 三 四 三 四 三 四 三

蝦 蟻 舞 離 繩 緩 緣 簪 箭 穗 稽 稼 積 磐 盤 膝 膝 烈 热 爪 熟 橋 楠
四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 七 四 五

餽 養 鞍 靈 震 鑄 鋤 顯 賀 賦 賤 賞 諫 諫 諭 諭 諭 諭 調 調 衡 蝶 蝶
三 三

薑 薄 濃 濁 澳 濁 嵌 嵌 壁 凝 十六画 魏 魁 魏 魁 魏 魁 魁 魁 魁 魁 魁 魁 魁 魁 魁 魁
三 三

膳 燈 燈 燈 檯
四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五 四 五

錫 錦 錦 錦 鋸 鋸 醒 醒 賴 賴 賴 賴 謂 謂 謂 謂 論 論 論 論 親 親 葬 葬 葬 葬 葬 葬
四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六 四 六

闢頭韻館駁鷺鴨塞鳴鶴鮑鯧鈎頭韻闢

十七画

莫六莫六莫六莫六莫六莫六莫六莫六莫六

染篠襖磈礎磈礎磈磈礎磈礎磈礎磈礎磈磈礎

畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫

織鵝鴻鯉鮋鮮鮫鮪駿鞠霞鍵鍛鍔鍋謝螺糠

畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫畫

鎮鎖鑊轉轆贊觀覆蟠撫膳織襟碰檻構曙藤擣

毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫毫

灝馳船鯤鵠鵠鯮鯭鯫鯱鯥騎顛類顚顚難

四十画 眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉眉

鏡警蟻蟹蠅蠍羅福臘犧櫟櫞蘭蘇藻瀨

画画画画画画画画画画画画画画画画画画画

鑄櫬臘鐘懸婦蘆鰐鯕鰐鯕鯕鯕鯕鯕鯕鯕

四十画 画画画画画画画画画画画画画画画画

鴉鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈鯈

四十画 画画画画画画画画画画画画画画画画

鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄

四十画 画画画画画画画画画画画画画画画画

鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄鑄

四十画 画画画画画画画画画画画画画画画画

羅籠鰐鯢鰐鰐鰐鰐鰐鰐鰐鰐鰐

鷺鷺鷺鷺鷺鷺鷺鷺鷺鷺

二十四画 鍾鑑鑑鑑鑑鑑鑑鑑鑑鑑

二十三画 鳴鰐鰐鰐鰐鰐鰐鰐鰐

二十二画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

二十一画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

二十画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十九画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十八画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十七画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十六画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十五画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十四画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十三画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十二画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十一画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

十画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

九画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

八画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

七画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

六画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

五画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

四画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

三画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

二画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

一画 賀賀賀賀賀賀賀賀賀

難読地名辞典

山口恵一郎
楠原 佑介 編

東京堂出版